

次上卿、外記をめてして座を敷べきよし仰す、

外記、掃部寮に仰て小庭に敷しむ、

次上卿官人をもて内豎をめす、

内豎小庭に候す、

上卿仰曰、少納言召せ、次少納言一人、中務輔一人、内記二人、一人持硯主鈴二人、印をもつて着座、

次上卿めして曰、近衛司、將監小庭に候す、

上卿仰曰、印、將監退く、

上卿、少納言をめてして、仰いはく、印、次少納言主鈴印をいだす、次少納言案下につく、

主鈴印板を案の上におきて、將監の傍にたつ、

次上卿少納言召て、仰曰、時とへ、

少納言内豎に問て、時を申す、

次内記を召て、勅符を給て、仰曰、ゑるせ、

内記時をゑるしてこれを返す、

次少納言をめてして、勅符官符を給て請印せしむ、

次少納言官符を上卿に返たてまつる、上卿官符を少納言に返給ふ、

官符は覆奏せず

次職事をめてして、勅符を奏す、

木契をば座にとめてこれを奏せず、職事返給ふ、

次少納言めして勅符を給ふ、次内記をめてして木契右かたぐく三枚を給ふ、内記一紙に裏て封じて上卿にたてまつる、上卿名の上字を書て、ゑばらく座の前におく、次内記めして、木契左方を三